

ORCID 学協会コンソーシアム
設立に向けて

平成 29 年 9 月 25 日



ORCID とは何か

➤ ORCID は **Open Researcher & Contributor ID**

の略称です。

◇ 世界中の研究者に一意の識別子を付与することを目的として、2010年8月に国際的・学際的な非営利団体として正式に発足しました。2012年10月より ORCID レジストリサービス開始しています

* レジストリとは、この場合「記録、登録を行うデータベース」を意味します。

◇ 個人の研究者の登録は無料です。

ORCID を利用する

- ・ ORCID を利用するには、オンライン登録が必要です。
- ・ ORCID 登録者は、自身の ORCID レコード上のすべての情報について、公開・非公開を設定できます。



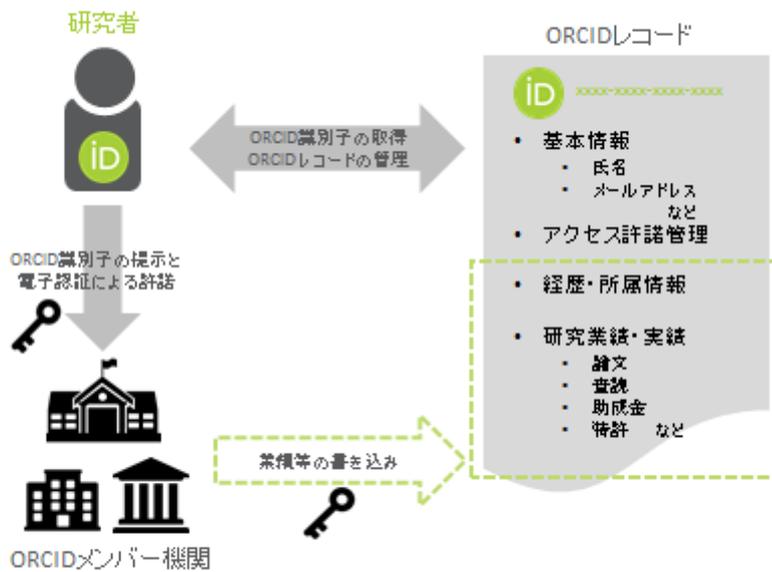
・研究者が公開するとした情報は、ORCID レジストリ上で誰でも閲覧することができます。

・非公開とした情報は一般には公開されませんが、アカウント登録者による電子認証を経て、特定の ORCID メンバー機関 に対してアクセス権限を与えることができます。

*ORCID を利用し、活動を支えるためには、会費を支払うメンバー機関の参加が必須です。大学等研究機関、助成団体、出版社、学協会などが諸外国はそのメンバー機関となっています。

ORCID メンバー機関の役割

・ORCID メンバー機関は、API を用いて ORCID レジストリと自機関の様々なシステムを連携させることが可能です。

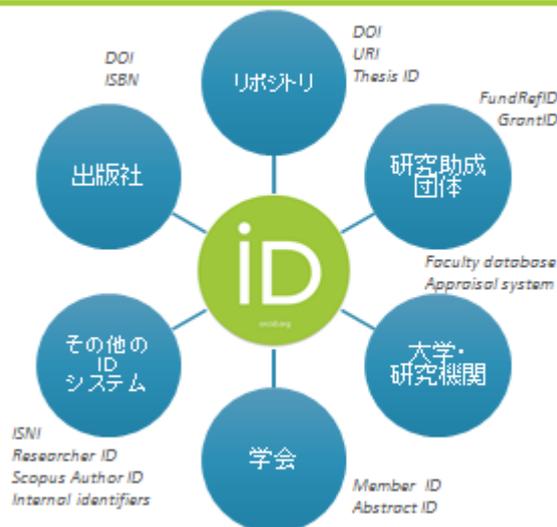


ORCID

ORCID IS A HUB

他の様々な識別子とリンクすることにより、ORCIDは研究者と、様々な業績やアウトプットを正しく結びつけます。

- 機械可読性 (machine-readable)
- 相互運用性 (interoperability)



*例えば、学協会は学会名簿と ORCID を連携し、ORCID データが変更されると自動的に学会名簿が変更されるといったシステム構築も可能です。この場合、研究者は ORCID

データのみ変更することで、所属する学協会のデータを変更することが可能です。ただし、所属学協会がメンバー機関であることが必要です。

ORCID 学協会コンソーシアムの意義

ORCID メンバー会費

Basic \$ 4,000 1 Credential

Premium \$ 8,000 5 Credentials

*Credential とは、そのシステムを利用することを認める証明書といったものです。5つあれば、5システムまで運用が可能となります。

Premium Consortium

コンソーシアムは自動的に 5 Credentials を利用できる

* 1システム利用には1 credential が必要

(例えば、学協会の場合、査読、学会からの受賞等情報、学会名簿連携で3つの Credential が必要)

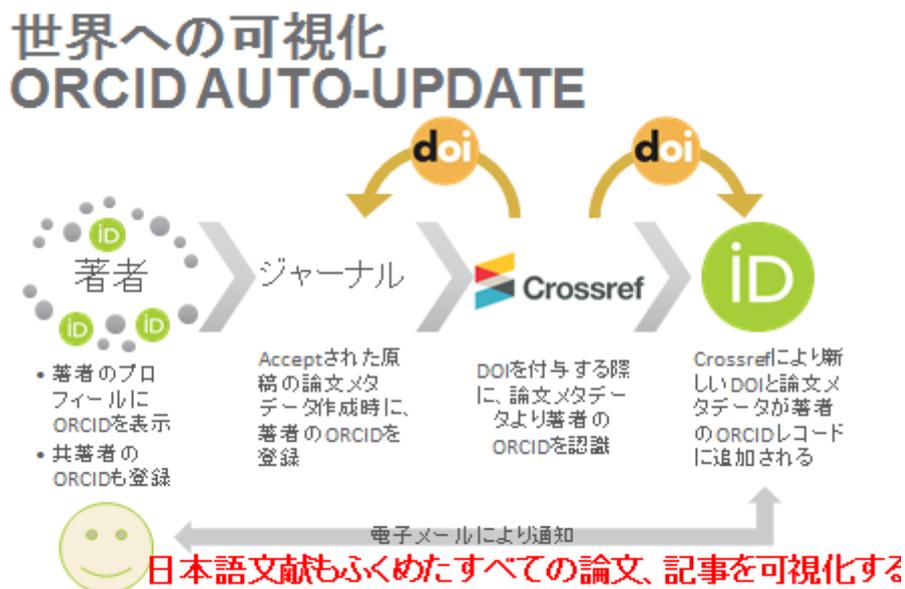
ORCID コンソーシアム会員会費 (2017年8月31日改訂)

5-9 団体	\$6,000
10-19 団体	\$5,000
20-34 団体	\$4,000
35-60 団体	\$3,500
61 団体-	\$3,000

コンソーシアムの意義

1. 会費負担の軽減
2. 学術情報の拡大
3. 学術情報の担い手としての責任を果たす
4. ORCID のみならず、変貌する学術情報世界への対応

5.上記を獲得するための情報交換、対話の場の創生



 宮入暢子 ORCID 学会コンソーシアム検討会資料 2017.5.26
17頁一部改変

* ORCID は、2015 年から、CrossRef と連携

上記フローのように自動的に ORCID に出版された論文情報が、CrossRef から自動送信される。

科研費申請について

特定非営利活動法人 UniBio Press 理事、国立情報学研究所副所長 安達淳を代表者とする国際情報発信強化（A）への申請をいたします。申請項目下記の通り。

1. ORCID 年会費 5 年間全額支援 学会支援数は 40 を予定
2. ORCID 利用支援費用（全般、技術的な質問等に対応）

3. 海外からの ORCID コンソーシアム関係者招聘費用

4. ORCID 広報費

5. 事務費

科研費参画条件

必須条件 1
出版ジャーナルの ORCID 登録義務化、もしくは推奨 1. ジャーナル著者の ORCID 表示 (ジャーナル上) 2. 筆頭著者のみ、あるいは著者全員 3. Author Guideline の整備
目標
1. 必須条件を平成 30 年 3 月までに策定すること 2. 「投稿者 ORCID 登録数と投稿全体に対する割合」平成 32 年 3 月報告 以後毎年報告 3. 編集業務における ORCID 登録義務化もしくは推奨によって起きた結果の状況報告 (例) 投稿時のリジェクト数増加/査読者決定がスムーズになった。 / 受理までの日数短縮など ORCID 義務化、または推奨方針策定後、1 年目から毎年報告
必須条件 2
UniBio Press が開催するセミナーに年間開催回数 7 割出席すること。ただし、ORCID に関するセミナーには、出席は必須とする。過去のセミナー内容は下記サイトから確認できます。 http://www.unibiopress.org/event/index.html
選択
1. 投稿査読システムとの連携 ○ 査読実績登録

コンソーシアム共有システム

2-1 システム開発 (コンソーシアムメンバーのみ利用可)

- ・ ORCID とのシステム構築に実績がある株式会社アトラ

スに、学協会が提供できる「役員履歴、受賞履歴等データ」
「大会発表データ」を研究者 ORCID に学協会名義で書き込
むシステム開発を依頼。

- ・学協会は、エクセルファイルを提出
- ・サポート料などの支援を検討中

Cloud システム共同利用

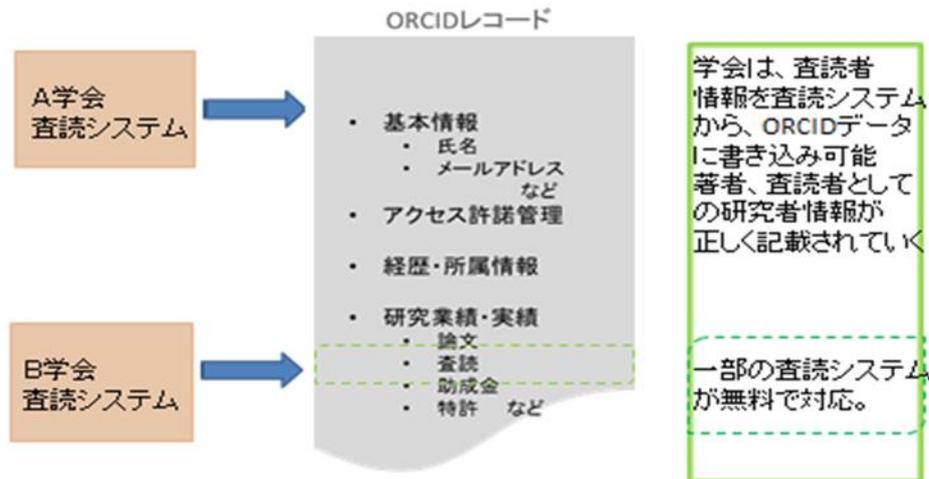
役員履歴、受賞歴



Cloudシステム利用による経費と学会負担の軽減。

投稿査読システム連携（単独でも利用可能です）

著者・査読者情報の把握と連携



- ・ 査読情報の書き込みは、Editorial Manager、ScholarOne Manuscripts 共に 2018 年春頃に導入予定。費用は無料

科研費申請までのスケジュール

平成 29 年 9 月 JSPS 説明

参加学協会提出書類 無し

重複応募について 情報発信 (A) への応募は重複

10 月 3 日、6 日 科研費参画説明会

10 月 20 日 (金) 正午 参加表明期限

11 月 8 日 (水) 調書提出期限

*学協会の ORCID に関する実務は、平成 30 年夏以降から開始されます。

ORCID 関連ウェブサイト

ORCID 学協会検討会 <https://sites.google.com/view/orcid-j-society/>

メンバーシップ情報 <https://orcid.org/about/membership>

メンバーサポート情報（出版社向け） <http://members.orcid.org/publishers>

ORCID 学協会コンソーシアム検討会 Wiki <http://community.orcid.org/c/j-society>

その他参考文献

林和弘．ORCID がもたらす学会への影響と連携の可能性．2011.

<https://www.nii.ac.jp/sparc/publications/newsletter/html/10/topics2.html>

宮入暢子．研究者識別子 ORCID：活動状況と今後の展望．2016.

<http://doi.org/10.1241/johokanri.59.19>

宮入暢子．ORCID のコミュニティ展開：日本での実装に向けて．2016.

<http://current.ndl.go.jp/ca1880>

問い合わせ先

特定非営利活動法人 **UniBio Press**

担当 永井

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-2 本郷MTビル4階

電話番号 03-3814-8836 FAX03-3814-6216 Email: nagai@unibiopress.org